

第25回施肥技術講習会募集要項

(第7回実学コース・更新講習会)

1. 主催：一般社団法人 全国肥料商連合会
2. 後援：農林水産省
3. 日時：平成31年2月21日(木) 9:15 受付
10:00～10:15 開講式
10:15～17:30 講義
17:30～17:45 閉講式
18:00～20:00 意見交換会(有志)

4. 場所：愛知県産業労働センター「ウイंकあいち」
10階1002会議室
〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目4-38
TEL052-571-6131
- 交通：●JR名古屋駅桜通口から、ミッドランドスクエア方面 徒歩5分
●ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分

5. 講師：後藤 逸男 先生 (東京農業大学名誉教授)
小川 吉雄 先生 (鯉淵学園農業栄養専門学校教授)
六本木和夫 先生 (元埼玉県農林総合研究センター部長)
渡辺 和彦 先生 (元東京農業大学客員教授)
- *講師プロフィールは別紙の通り

6. 講義概要：【後藤 逸男先生】
～土壌診断に基づいた施肥～
- ① 土壌診断調査法の解説
(土壌診断のための試抗調査と土壌試料採取)
 - ② 土壌診断分析法の基本と最新技術の紹介
 - ③ 実践、土壌診断分析結果に基づいた施肥管理
(露地野菜・施設野菜・施設花卉・水田他)
 - ④ 土壌改良資材の特性と上手な使い方
(転炉スラグ・天然ゼオライトを中心に)

【小川 吉雄先生】

～物質循環を中心とした施肥と環境影響～

- ① 農業と環境
 - ・ 農業と環境問題
 - ・ 自然生態系と農業生態系
 - ・ 文明の画期と環境の変動（人新世）
- ② 物質循環の破綻と環境影響
 - ・ 物質循環と地球をめぐる大循環
 - ・ 炭素の循環と地球温暖化
 - ・ あふれる窒素をどうするか
- ③ 物質循環を中心とした施肥管理
 - ・ 環境にやさしい農業の進め方
 - ・ 物質循環に配慮した施肥管理の最近の研究

【六本木 和夫先生】

～リアルタイム診断と施肥管理～

- ① リアルタイム診断の必要性
- ② リアルタイム診断手法の開発
- ③ 作物別診断 （1）果菜類、 （2）花き類、 （3）果樹
- ④ 栽培現場における診断（硝酸イオン測定簡易器具の説明）
- ⑤ 養液土耕栽培（かん水同時施肥）

【渡辺 和彦先生】

～肥料・ミネラルの作物と人での働き～

- ① 農水省が硝酸態窒素に対する考え方を変えた！
- ② 高品質、多収穫の施肥のポイント、注意点
（隠れた元素、マグネシウム、イオウ、ケイ素）
- ③ ミネラルと人との健康、特にケイ素、ホウ素について
- ④ 有機物施用で生じる微量元素欠乏
（特にホウ素、マンガン、銅、亜鉛）

*各講師の講義内容は変更する場合があります。

7. 講義内容：
- ① 講義時間は1講義90分、休憩15分で行う。
 - ② テキストは講師が使用するプロジェクター資料を配布します。

- ③ 講義終了後検定試験は行いませんが、1か月以内に印象に残った講義についてレポートを提出頂き、講師の評価を受けます。

8. 受講対象者： 過去全肥商連施肥技術講習会を受講し、「施肥技術マイスター」登録後4年～6年経過した登録者（登録有効期限：平成28年9月30日～平成30年12月31日迄）の方、及び都道府県普及職員(含新規受講者)。

9. 更新の選択： **【施肥技術マイスター登録者】**

受講後の手続きにより登録が変わります。下記（A）か（B）、どちらかを選択して頂きます。

(A)：「施肥技術シニアマイスター」登録希望

◇受講後印象に残った講義について、3週間以内にA4判用紙2枚程度レポートを郵送し評価を判定する。（パソコン作成可）

(B)：「施肥技術マイスター」更新希望

◇レポート提出義務はありません。

- *（A）、（B）何れも、認定証カード用写真(3.5×4.5cm、裏面に氏名記載)を郵送願います。何れも登録料、更新料として5千円お振込み願います。

【今回初めて受講される方】

- * 手続きが異なりますので、お申込みの際事前に本部宛ご連絡願います。

10. 募集人数： 定員120名。

11. 受講料： 2万円。

12. 意見交換会： 講義終了後、講師を囲んで意見交換会を実施します。講義内容の補完、生産現場での情報交換等ご活用下さい。（立食・ドリンク付¥3,000円）

13. 募集締切り：平成31年1月31日（木）迄に、FAXでお申込み下さい。

但し、申込み人数が定員に達し次第、締切らせて戴く場合があります。

14. 宿泊： 必要な方は、各自ホテルを自由にご予約願います。

以上